

< NEWS RELEASE >

2021年2月3日

大阪文化服装学院が

ファッションテック専門スクール「東京ファッションテクノロジーラボ」と教育提携し、  
ファッション専門学校で初となる「3Dモデリスト」育成を開始！

ファッション専門学校「大阪文化服装学院」を運営する学校法人ミクニ学園（理事長 岩崎一哉 所在地：大阪市淀川区三国本町）は、ファッションテック専門スクール「東京ファッションテクノロジーラボ(略称：TFL)」(代表 市川雄司 所在地：東京都渋谷区神宮前)と教育提携をし、ファッション業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)につながる職種「3Dモデリスト」育成を目的とした専門コースを全国  
のファッション専門学校で初めて設置します。

■新設学科/コース詳細、開始時期

学科・コース名： ファッション・クリエイター学科 「3Dモデリストコース」

開始時期： 2021年度(4月より)

対象： 同学科2年次より専攻、2・3年次の2年間で修得。

講師： TFLより派遣・対面方式

※3年目より当校教員が教授予定

■「3Dモデリスト」とは

「3Dモデリスト」とは従来2DのCADでのみ作図されてきたパターン(型紙)を、PC内で3Dモデルと連動して立体の形状に仕上げる技術を持つクリエイターのことを指します。高度なスキルを持つ「3Dモデリスト」が作成する、現物サンプルと遜色ない3DCGによって、

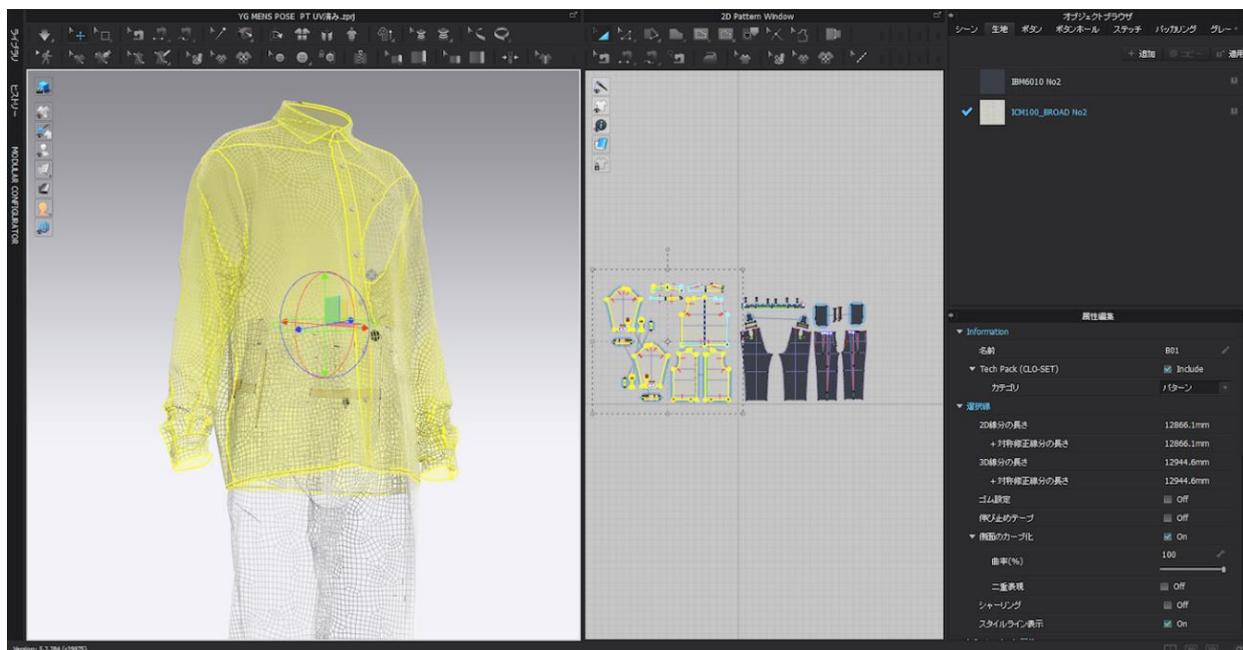
- ・デザイン案～量産決定までの検討期間の短縮、スムーズな合意形成
- ・量産決定までのサンプル経費の削減
- ・緻密な3DCGデータを活用した先行受注などによる需要予測
- ・ECサイトでの販売に向けてのささげ経費の削減

といったファッション業界のDX化を推進することが可能になります。

大阪文化服装学院

OSAKA INSTITUTE OF FASHION

3-35-8, Mikunihonmachi, Yodogawa-ku, Osaka, Japan, 532-0005  
Tel: +81-(6)-6392-4371 Fax : +81-(6)-6391-5600 www.osaka-bunka.com



## ■ファッション専門学校における「3Dモデリスト」教育の現状

「3Dモデリスト」はファッション産業のサプライチェーンのDXにつながる重要な職種として注目されています。しかし、高度なオペレーションスキルを必要とする3Dモデリング・ソフトの教育提供をできる講師が少ないことや、ファッション以外のCGや映像領域の教育ノウハウが必要なため、ファッション専門学校では特定ソフトのオペレーション授業提供にとどまっており、増加する業界ニーズに対して、対応可能な人材供給が不足しているのが現状です。

## ■TFLとの教育連携が生み出す価値

TFLは、創立の2017年以来、ファッションとテクノロジー、CG、映像など複数領域の教育を提供してきました。学内に研究会（AI・バーチャルファッション・デジタルツイン研究会など）をもち、新しい技術やノウハウの産業活用を研究しています。

今回の教育連携により、創立の1946年以来、長きにわたりファッション業界の「入口」として基礎教育を担ってきたファッション専門学校たる当学院が、これまでのデザインやパターンメイキングを主としたカリキュラムに、TFLの持つ複数のテクノロジー領域の教育ノウハウを融合することで、ファッション業界のDXにつながる次代のクリエイターを数多く育成することが可能となります。

**大阪文化服装学院**

OSAKA INSTITUTE OF FASHION

3-35-8, Mikunihonmachi, Yodogawa-ku, Osaka, Japan, 532-0005

Tel: +81-(6)-6392-4371 Fax : +81-(6)-6391-5600 www.osaka-bunka.com

## ■当該コース設置の目的

当学院において、当該コースを設置する主な目的は以下の通りです。

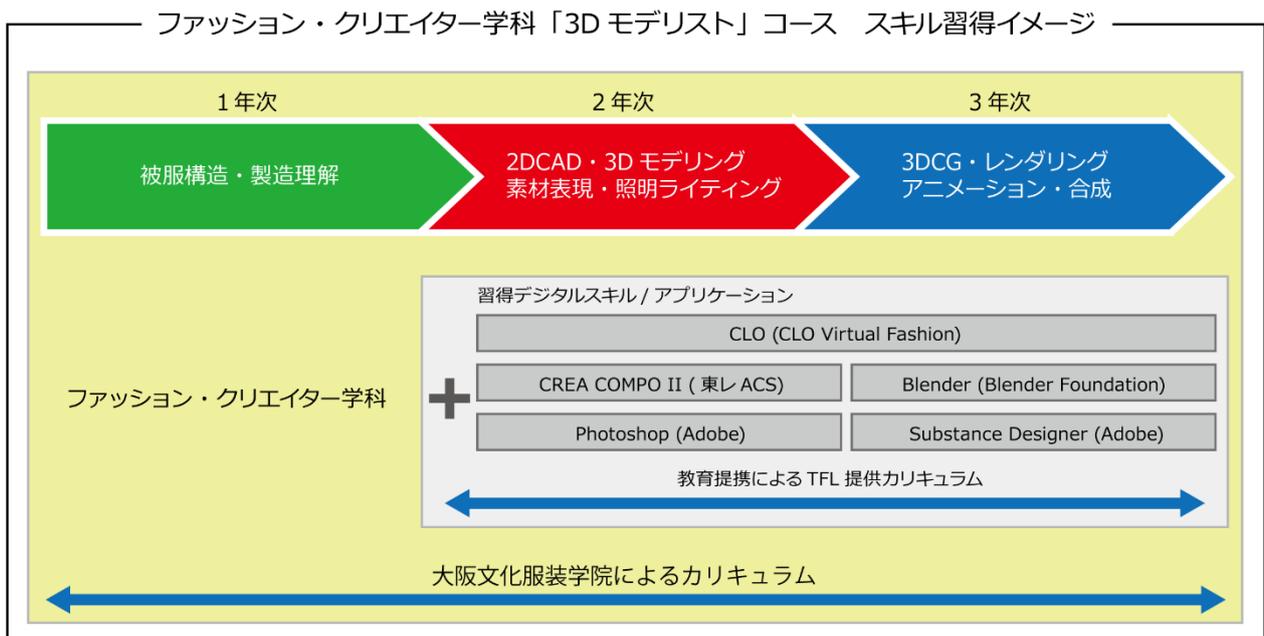
- ① ファッション・クリエイター学科領域における付加価値の高いDX対応人材の育成
- ② ファッション業界における新たな「職種」、人材マーケットの創造・普及
- ③ 「3Dモデリスト」やファッション業界を目指す若い層の拡大、新規入学生の優位的獲得
- ④ 当学院が標ぼうする“DX対応”に向けたコンテンツの具現化と積極姿勢提示。

またそれに対する国内外の評価獲得

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で衰退が顕在化するファッション業界において、上昇気流を生み出すクリエイティブな人材をマーケットに送り出すこと、またそれによりファッション業界に活気を取り戻すことが当学院の使命です。時代を先読みし、DX対応をはじめとした『教育の本質価値』と『学生の人財的価値』を高めるためのコンテンツ刷新、協業、投資を今後も積極的に進め、日々変化する時代と世界に通用する人材の育成に努めてまいります。

特にDX化への対応は、ファッション領域のみならず、それ以外の分野・事業においても「当学院の学生が社会に出て役に立ち、活躍する場と選択肢につながる」という強い信念のもと、挑戦を継続して参ります。

併せて、新しい価値の創造と成長を止めず、国内外評価を高める努力を継続し、学生や保護者をはじめとしたステークホルダーの皆様にとって無くてはならない唯一無二のファッション専門学校として、社会から必要とされる学校法人を目指し本業に邁進して参る所存です。



<Appendix: 3D モデリストコース 導入背景・補足>

■減り続ける「服飾・家政（ファッション）」分野の学生数

文部科学省学校基本調査（令和元年）によると、服飾・家政（ファッション）分野の学生数は昭和 52 年の 89,000 人（専門学校の主要 8 分野の学生数の中で 1 位）をピークに減り続け、令和元年には 16,000 人（同 8 分野の中で 7 位・農業分野に続く少なさ）にまで減少を続けてきました。

■就職が困難なクリエイティブ職種

全国にあるファッション専門学校では「ファッションデザイナー」「パタンナー」「プレス」などのクリエイティブ人材育成を担ってきましたが、国内アパレルの衰退、生産機能の海外流出などに伴い全国的にクリエイター就職が困難な状況に陥ってきました。

■拡大が見込まれる 3D モデリスト需要への対応

3D モデリストの需要は企業ニーズの増加により急速に高まっていますが、対応できる人材は不足しています。一方、教育の場に目を向けると、現状当該の専門カリキュラムを提供しているのは TFL 一社で「社会人」向け、かつ「東京」のみと偏重傾向（課題）が顕著であったため、当学院のカリキュラムへの正式導入により、ファッションの未来を担う「若年層」にまで裾野を広げて、また「大阪」で新たな教育の場を提供し、3D モデリスト人材拡大に寄与することを目指します。

■「ファッション 3D モデリスト検定」資格の認定

TFL グループの一般社団法人ファッションデザインエンジニアリング協会が今後実施する「ファッション 3D モデリスト検定」の資格を取得することにより、3D モデリストとしてのスキル評価が客観的に可視化され、専門スキル人材としての価値を高めることが可能になります。

■新しい働き方・生活様式に対応する「3D モデリスト」

TFL はグループ会社に株式会社 FMB（代表取締役 市川 雄司）を持ち、関東圏にて既に 3D モデリングの制作業務を集中的に受託しています。大阪文化服装学院で 3D モデリストとしてのスキルを習得した卒業生も、その業務の一部や新たに開拓する関西での需要をリモートも含め請け負うことが可能となり、ファッションクリエイターとして新しい働き方・生活様式を実践できることとなります。

■グローバル観点で見た可能性・奥行き

グローバルで見た衣料品需要は、世界人口の増加や開発途上国の経済発展とともに増加が見込まれており、急成長産業とも言われています。リモートで仕事のできる 3D モデリストは場所を問わず仕事のできる新しい職種になり、世界中から仕事を請けられる可能性を秘めた職種でもあります。日本だけでなく、世界に目を向けることが可能なこの職種を一例に、ファッション産業を目指す若者を増やす明確なコンテ

ンツ作りを追求して参ります。

ご取材のお申込み・お問合せは、経営企画室までお願いいたします。

大阪文化服装学院 広報担当 加藤圭太・豊田晃敏

TEL 06-6392-4375 e-mail [kkato@osaka-bunka.com](mailto:kkato@osaka-bunka.com)